

安全対策の効率化

カケル

AI安全帯不使用者検知システム「KAKERU」

画像認識AI(人工知能)技術でフック不使用者を自動検知

特徴

- 1 墜落転落災害に繋がる
危険行動抑止！
- 2 監督作業の省力化 を実現！
- 3 作業員の 安全意識向上・
再発防止！



NISHIO
オリジナル

不使用時
検知イメージ



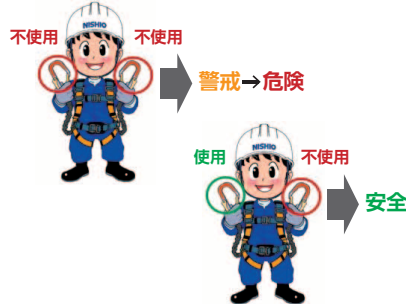
状態: 危険

検知対象

フック2丁掛けVer



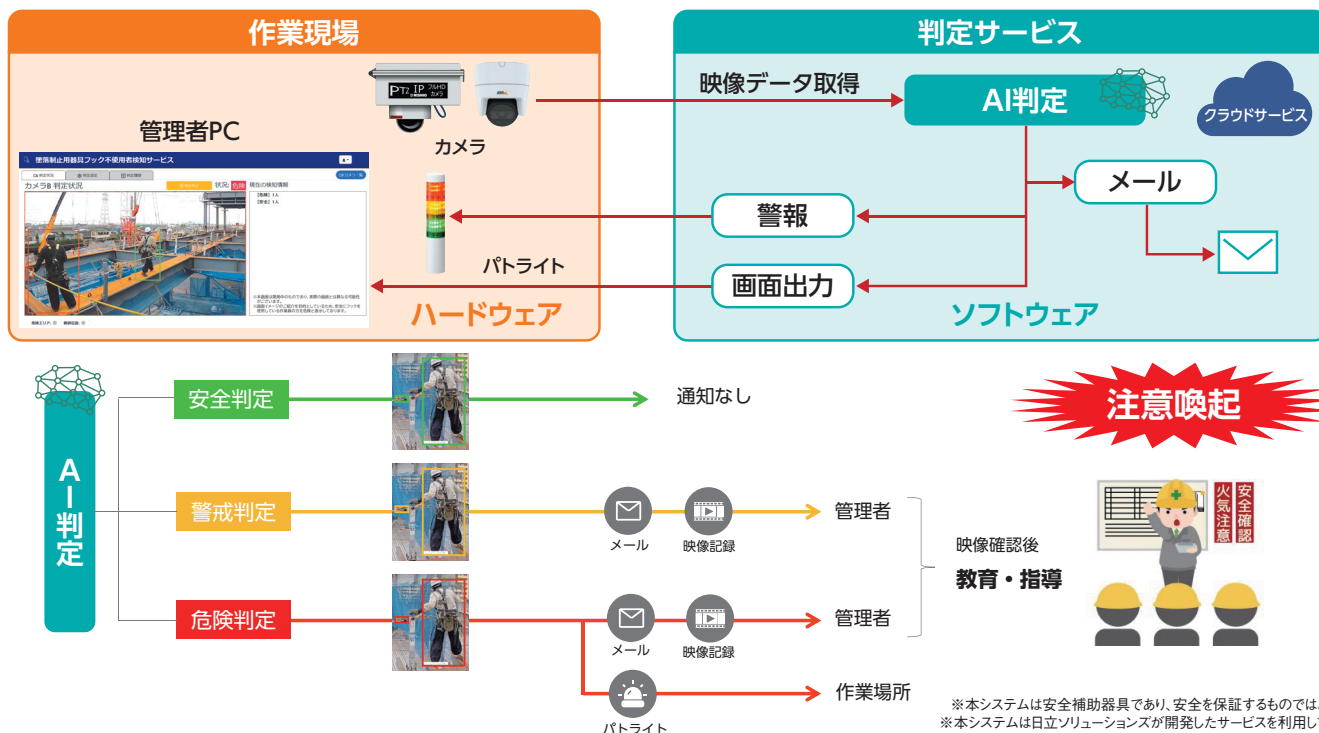
New! フック1丁掛けVer



仕様

対象現場	初期バージョンでは、鉄骨上における作業 (親網を設置している現場)
画角および 距離	作業者の接地面からカメラ設置までの高さ: 約2m(斜め下に向けて撮影) カメラの設置位置から検知対象までの距離: 15mまでを推奨 (20mの検証実績あり)
明るさ	屋外の順光、もしくはそれに近い環境光であること
作業条件	対象の作業員にある一定の動作があること
作業員の装備	墜落制止用器具フックにオレンジ色の蛍光テープ が貼られていること
判定条件	3フレームによる判定を実施 (AI監視時間:3秒程度※デフォルト値、導入時に決定)

判定状況・システム構成イメージ



※本システムは安全補助器具であり、安全を保証するものではありません。
※本システムは日立ソリューションズが開発したサービスを利用しております。